

中国・韓国 とのゆかり 探訪

第7回

1300年前に
海を渡ってきた
文化は奈良から
日本各地へと
広まった

法隆寺—世界最古の木造建造物にも中国・韓国とのゆかりが

法隆寺は聖徳太子ゆかりの寺院で、境内には飛鳥時代をはじめ各時代の建造物が軒を連ねています。西院の金堂、五重塔、回廊、中門は優れた意匠を持つ世界最古の木造建造物で、日本で最初の世界遺産に登録されました。日本には8世紀以前の木造建造物が28棟現存しますが、このうち10棟が法隆寺に所在し、寺院の七堂伽藍すべてが国宝に指定されているのは法隆寺だけです。

西院伽藍の雲形肘木、人字型割束、正崩しの勾欄と呼ばれる建築技法は、7世紀以前の中国のものが朝鮮半島を経由して奈良に伝えられたものです。

また、数々の仏像にも中国・韓国とのゆかりが見られます。例えば、金堂の須弥壇中央に安置される釈迦三尊像は、仏教が百済から日本に伝来して初めて造られた仏像の一つで、朝鮮半島からの渡来人の子孫・鞍作止利により造られました。その彫刻様式は止利様式と呼ばれ、中国北魏の仏像様式の影響を強く受けています。「平面的で浮彫的な表現で奥行きがない正面観賞の重視」「分厚い表現の衣文や左右対称の像様」「楕円形の面長の顔で杏仁形の目を持ち、笑みを浮かべる口元と表情」などの特徴があります。この様式は朝鮮半島を経て日本に伝来したと考えられています。これらの点に注目して、法隆寺を拝観してみたいかがでしょうか。



【法隆寺】JR法隆寺駅から、奈良交通バス「法隆寺門前」行き、法隆寺門前下車すぐ。



七堂伽藍すべてが国宝に指定されている法隆寺の境内

◎ 県国際観光課

☎ 0742・27・8553

FAX 0742・23・0620

統計から 知る奈良 第6回

県民の収入・貯蓄の 状況について 「奈良県民のくらしに 関する調査」の結果から

県内の1世帯当たりの年間収入額は、平均で523万円となっています。

また、県内の1世帯当たりの貯蓄額は、平均で911万円となっています。

他の調査を見ると、総務省の平成21年「家計調査報告」では、勤労者世帯（二人以上の世帯）の年間収入額は、奈

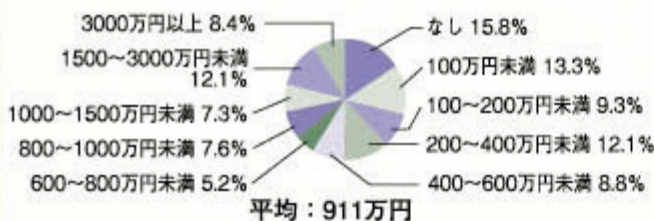
良県は全国11位（都道府県庁所在都市の比較）となっています。

同省の平成21年「全国消費実態調査報告」では、1世帯（二人以上の世帯）当たりの貯蓄現在高は、奈良県は全国2位となっています。

厳しい経済情勢ではありませんが、全国の中でみると、奈良県は収入・貯蓄とも上位にあります。

※貯蓄現在高：金融機関への預貯金、保険の掛金、金融機関外への貯蓄の合計

《貯蓄の金額階級別の構成比》



◎ 県統計課 ☎ 0742・27・8439 FAX 0742・27・0615

《年間収入の金額階級別の構成比》

